

-에 즈음하여

～に際して

節目の時機を示す格式ある書き言葉です。日本語の「に際して」とほぼそのまま対応します。

■ つけ方

状況	形	例
名詞	에 즈음하여	개교에 즈음하여
よく使う語	개교・창립・신년	記念すべき節目
縮約	에 즈음해	より短い
近い形	-을/를 맞아	より一般的
名詞のみ	動詞は不可	가에 즈음하여 (×)
原義	즈음	ころ・おり

■ 使い方と注意

節目の時機を示します。창립 50주년에 즈음하여 말씀드립니다 (創立 50周年に際して申し上げます)。

あいさつ文の定型です。記念式典、年頭のあいさつ、追悼文などで使われます。日本語の「に際して」とまったく同じ場面で登場します。

めでたい節目と組むのが典型ですが、追悼など厳肅な場面にも使えます。

-을/를 맞아 が日常版です。창립 50주년을 맞아 (創立 50周年を迎えて)。意味は同じで、こちらのほうが一般的です。

■ 例文

- 1 새해에 즈음하여 인사 말씀을 드립니다.
新年に際して、ご挨拶申し上げます。
- 2 창립 30주년에 즈음하여 기념행사를 마련했습니다.
創立30周年に際して、記念行事を用意しました。
- 3 개교 100주년에 즈음하여 장학 기금을 조성한다.
開校100周年に際して、奨学基金を造成します。
- 4 퇴임에 즈음하여 몇 마디 남기고자 합니다.
退任に際して、一言残したいと思います。
- 5 신제품 출시에 즈음하여 직접 만드는 과정을 공개했다.
新製品の発売に際して、手作りの過程を公開しました。
- 6 광복 80주년에 즈음하여 특별 전시가 열립니다.
光復80周年に際して、特別展示が開かれます。

■ 紛らわしいもの

-을/를 맞아
「を迎えて」で一般的です。즈음하여 は格式が高くなります。
50주년을 맞아 (一般) / 50주년에 즈음하여 (格式)

-을/를 계기로
「を契機に」で転機を示します。즈음하여 は時機の提示です。
사건을 계기로 (転機) / 창립에 즈음하여 (時機)

-(으)ㄹ 때
単純な時点です。즈음하여 は記念すべき節目に限ります。
졸업할 때 (時点)

■ まちがえやすい点

- × 가에 즈음하여
○ 명사에만 붙습니다
動詞には使えません。
- × 친구야, 생일에 즈음하여 축하해.
○ 친구야, 생일 축하해.
日常会話では使いません。
- × 어제에 즈음하여
○ 어제
節目となる名詞と組みます。